

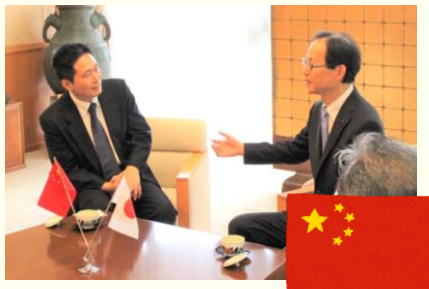


What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

佐藤知事の就任祝い 各国が表敬に

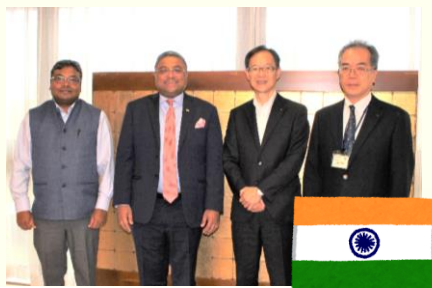
6/9 中国
在福岡中華人民共和国総領事



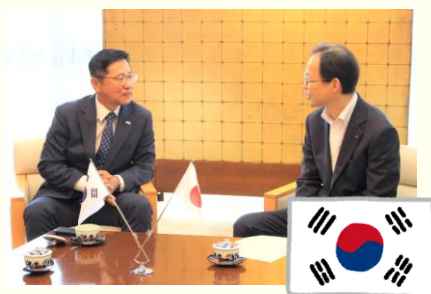
6/16 タイ
在福岡タイ王国総領事



7/5 インド
駐日本インド大使
在大阪・神戸インド総領事



7/31 韓国
在福岡大韓民国総領事



8/21 ウェールズ
ウェールズ政府日本代表



佐藤知事の就任を受けて、各国から大使らが祝福の意を伝えるため県庁を訪れ、知事を表敬しました。2地域間の現状や今後の交流などについて意見を交わし、また記念品の交換を通じて交流を深めました。

県内のニュース

8月に起こった県内の出来事やニュースについてご紹介します。



- ・ ウェールズ政府日本代表事務所の代表が大分県知事を訪問
- ・ JR日田彦山線BRT、沿線住民は地域活性化の役割期待
- ・ 22年度の大分県、人口10万人当たりの外国人留学生数が全国3位
- ・ 日田市に進撃の巨人ミュージアム別館が開館 原画などずらり、諫山さんのコメントも
- ・ 姫島の盆踊、4年ぶり「子ギツネの舞」 大分県内外から大勢の見物客
- ・ 日田市の天ヶ瀬温泉街、再開目指した9旅館が全て復活
- ・ 涼を求めてサップ体験など楽しむ 日田市「リバーフェスタ in みくま川」
- ・ 竹細工、染め物…外国人向け別府体験プランが人気 コワーキングスペース「シナジーズ」
- ・ 大分県内の行楽地、盆の帰省客や観光客でにぎわう
- ・ 大分県大阪事務所が飲食店に県産カボスを配布 消費拡大や認知度アップへ
- ・ 19日、伝統行事「本場鶴崎踊大会」 49年ぶりに国道で開催
- ・ 石灰のまち津久見「お節介せんべい」販売開始 包装にはユニーク方言あしらう



浦100プロジェクト始動



“佐伯版SDGs”の取り組みから今年で400年
山・川・海の恵みを楽しむ観光プロジェクト「浦100」始動

「浦100」
サイト

佐伯市としての新しい観光のコンセプトを制作し、大漁旗をフックにしたコンセプトロゴ、メインデザインが完成しましたので合わせてお知らせいたします。



■WHAT～浦100とは

「100年後も人の営みが豊かな浦を残すための100の観光アクション」を生み出すことを目標とした、佐伯市観光協会のプロジェクトです。

「佐伯の殿様 浦でもつ。浦の恵みは山でもつ」そう言い伝えられるほど、佐伯寿司で有名な大分県佐伯市は豊かな山、川、海を持っています。1623年、佐伯藩は魚類の生息を守るため森林資源を残す触書を出しました。SDGsの先駆けともいえる取り組みです。それから400年。佐伯市観光協会は次の100年に向け、「100年後も人の営みが豊かな浦を残すにはどうすればいいだろうか」という問いを立て、山、川、海の自然の循環を観光コンテンツと捉え、自然の恵みを体感できる観光プログラムの造成に取り組みます。売上の一部は、山・川・海の保全活動に活用できる様推進していきます。



All Work and No Play

☆めじろんを探してね！

Austin Vaughn



子供は子供なりに

最近、仕事での出張が増えてきました。コロナも落ち着いた(とされている)ためか、「国際交流員」の「交流」がようやく輝けるようになってきました。とはいえ、正直なところ、僕は人前に出てプレゼンをしたり、イベントをしたりするのはずっと前から苦手でした。でもここでの生活で、それがだいぶん慣れてきたのも確かです。今では、嫌々やるのではなく、少なくとも我慢できるようになりましたし、というよりも楽しいとさえ思えるようになりました。

今回の初めての出張先は、子育て仲良しクラブでした。ミッションは、子供たちと一緒に楽しくできるゲームを考えることでした。しかしその前に、本当の意味での「交流」をするのも楽しいだろうと思い、ビデオ電話で6歳の弟をみんなに紹介しました。ゲームの話をしたり、Facebookのフィルター(特殊効果等)で遊んだりしているうちに、いつの間にか30分が過ぎてしまいました。正直なところ、この年頃の異なる国の子供たちの文化交流がもっと一般的になれば、みんなが楽しく英語勉強できるし、将来の成長にもつながるだろうと思いました。しかし、するかどうかは教育委員会が決めることです。

クラブの話に戻しましょう。弟と話をした後、みんなを集めて「ダック、ダック、グース」というアメリカのゲームで盛り上がりました。日本にも似たようなゲーム、「ハンカチ落とし」があるので、幸いルールの説明はとても簡単でした。何人かが「鬼」になりすぎて、ちょっと怒った子もいましたけれど、全体としてはみんなわいわい楽しめました。その後、「レッドライト、グリーンライト」で遊びました。似たような「だるまさんがころんだ」がありますが、ルールは若干違うので説明するのが少し難しく、ちょっとだけ混乱が起きました。残念ながら、始まったところで時間切れになってしまいました。次回があることを願っています。

その数日後、大分県立図書館で英語絵本の読み聞かせをしました。その数週間前、子供たちに英語と日本語で読み聞かせをするために、子供の頃に読んだ本をたくさん借りました。正直にいうと、「No, David!」(「だめよ、デイビッド!」)や「Harry the Dirty Dog」(「どろんこハリー」)など、もう一度読みたいと思った本ばかりを選びました。でも、見たことのない「Would You Rather...」(「どれがいい?」)も読むことにしました。あの本は本当に変な選択肢ばかりでできて、子供たちが夢中になって、僕のすぐそばまで行って、「乗れるブタより、一緒にボクシングできるネコの方がいい!」などと絵を指さしました。

子供と関わる仕事に向いていないとずっと思っていました。だから、日本に引っ越すと決めたとき、英語の先生にならないように最善を尽くしました。でも、間違っていたかもしれません。楽しかったです。



All Work and No Play



ユタ、場所はここだ

その数日後の土曜日、子どもたちから離れ、大人向けの講座を行いました。僕は毎月、大分県国際プラザでフリートーククラスをやっていますが、それとは別にプラザが開催する「国際理解講座」というものがあります。この講座では、色々な人々が自分の国や外国での経験について話します。そのうちのひとつを僕が担当することになりました。

多くの人と話した結果、母国のアメリカではなく、出身州のユタ州について話すことにしました。その理由は2つあります。1つ目は、こんなことを言って同僚から怒られたこともありますけど、アメリカはとにかく広いんですよ。90分でアメリカ全土を語ることはできません。どの州も他の州と違いすぎて。それに関連して、理由の2つ目。国際交流に興味を持っている人たちは、アメリカの州が共通している文化について、もうたくさん知っている人がほとんどです。アメリカの文化は、無視するにはあまりにも「どこにでもある」のです。そのため、話したほうが良いこと、話さなくていいことを決めるのが難しいです。もう皆が知っていることばかり話すと、退屈させるだけです。だから代わりにユタ。みんなはその名前を知っている。モルモン教も知っている。でも、それ以外はあまり知られていません。しかし、ユタはアメリカだけでなく、世界でも最もユニークな場所のひとつです。だから、その歴史や文化、観光地について教えるのは楽しいと思いました。美しい土地がたくさんあるし、文化も他の州とはまったく違います。それに、U.S. News & World Reportによれば、ナンバーワンの州です。それをみんなに見せびらかさなければならなかったのです。ユタ人としての義務です。

ためらうことがただひとつだけありました。理解講座はすべて日本語でした。正直、緊張しました。今までの講演などはほとんど英語でしたので、自分の考えをきちんと伝えられるかどうか不安でした。幸い、何とか乗り切ることができました。思っていたほどメモに頼ることもなかったです！英語でプレゼンテーションすると同じように、日本語でのプレゼンテーションもやればやるほど慣れていけばいいのですが・・・

一方、講座の参加者はもともとそれほど多くなかったです。当初は35人ほどが申し込んでいましたが、その3分の1近くが体調を崩して参加できませんでした。僕も少し体調が悪かったですが、コロナ検査は陰性だったので、延期や中止は僕のプライドは許せませんでした。日本の夏は本当に人を殺せるほどやばいです。でも、自分の故郷をたくさんの人たちと共有できてよかったです。



おおいた国際交流プラザ
ホームページ





豊後高田市

～夏の終わりを感じよう、ひまわりを見に行こう～

長崎鼻 ひまわり畑



ひまわり畑の一部の様子 🌻



満開した黄色いひまわりの様子 🌻



長崎鼻リゾートキャンプ場の管理棟
の近くにある

「カフェ&レストラン花キッチンfiore」
のレモンケーキ

今年の初めの頃、青空と海を背景に咲いた150万本の黄色いひまわり花畑の写真を見て「夏になったら絶対ここに取材に行く」と決めていました。その場所は豊後高田市・国東半島最北部あたりに北西に突き出た「長崎鼻」と呼ばれる岬です。今日はこのひまわり畑で撮った写真や訪れる前に知っておくと良いポイント、そして韓国を代表するインスタレーションアーティスト「チェ・ジョンファ」氏の作品について紹介します。

ここはかつて耕作放棄地でしたが、地域住民と「NPO法人長崎鼻B・Kネット」が中心となり花畑を作り始め、今では春は菜の花、夏はひまわり、秋はコスモスが咲き誇り、県内外から多くの人々が訪れる名所になりました。また、花畑の間にある散策コースを歩いていると、自然に馴染むアート作品も見られるため五感を満足させることができます。この花畑の敷地は約16.5haと非常に広いです。ここで話題を変えて、訪れる前に知っておくと良いポイントを紹介します。①岬の右側にある段々畑に行く道は急坂であるため、足が楽な靴を履くこと。②段々畑には休める木や日陰がほとんどないため、熱中症予防に万全を期し、(日傘や手持ち扇風機、扇子などを使い、こまめに水分補給をするなど)休憩をしながら散歩すること。夏の長崎鼻を楽しむために、この2点は押さえておきましょう。

最後に、岬の中央にあるキャンプ場の管理棟近くには、(ひまわりフェスタ期間限定) 出店やカフェがあり、簡単な食事ができたり、飲み物を飲んだりすることができるので、ちゃんと食べながら安全で楽しくひまわりと夏の終わりを楽しみましょう!





野生のサルとの親しい触れ合い

今年、高崎山自然動物園は開園70周年を迎えました。7月3日、雨が降っていても、私たち三人は計画通りに高崎山に行きました。

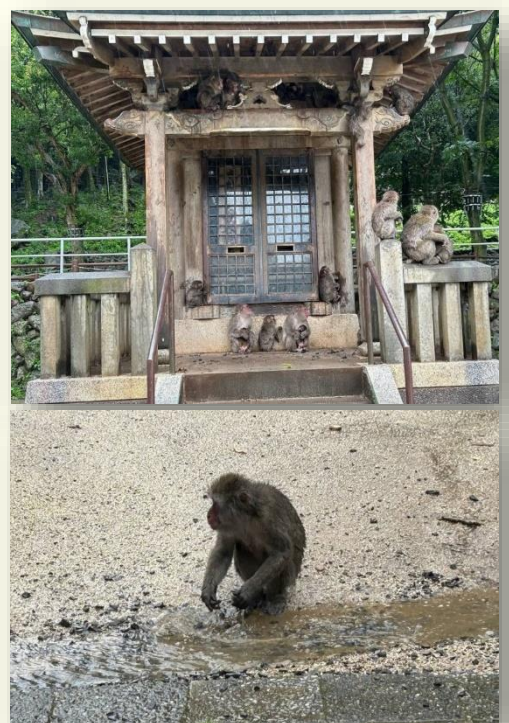
バスを降りて、まず目に入ったのは高崎山自然動物園の大きな看板とかわいいゆるキャラ「たかもん」です。普通の茶褐色のサルと違って、「たかもん」は明るい緑色です。入場券売り場で「サルたちはもう寄せ場に来てますよ」とスタッフが親切に教えてくれました。よかったです。



動物園に行くには、歩いて行ってもいいし、さるっこレールを利用することもできます。歩いても、5~6分しかかからないそうです。坂に沿って、青々と葉を生い茂らせた木々の中を歩くのは涼しく感じます。しばらく進むと、「キーキー」という鳴き声が耳に入ってきました。どこからか見回したら「上のほうを見て」と友達が言ったので見上げると、茂った木立の中に、枝に座っているサルの姿がありました!鳴き声はこのサルが出したのです。私たちを歓迎しているように聞こえました。子ザルに楽しく声をかけたら、すぐに、あちこちからサルの鳴き声が聞こえてきました。よく見ると、大きな木にいるのはこのサルだけではなく、近くの木にも何頭もいました!

そこから少し進むと、寄せ場に着きました。普通の動物園と違い、ここには網や柵がなく、観光客はサルの世界に直接入り込むことができます。まず見えるのはお堂で、軒下で数頭のサルが遊んでいました。赤ちゃんザルを抱いて雨宿りをしたりしている母ザルもいれば、雨に濡れるのにもかかわらず真ん中の空き地で水遊びをしたり、地面で何かを拾って食べたりするサルもいました。

ここはもともとお寺で、お堂、仏像、大鐘、仏塔などがあります。今はサルたちの遊園地のような感じです。高崎山自然「動物園」といっても、サルしか見られません。ここにいるのは野生のニホンザルで、毎日山を駆け回り、自由に生息しています。この山には1000頭ほどのサルが住んでいて、二つの群に分かれて毎日朝晩遊びに来ているそうです。



野生のサルとの親しい触れ合い



私たちが楽しそうにサルの写真を撮っているとき、1頭のサルが近づいてきて、私の足元に止まって私を眺めていました。どうやらこのサルは観光客を恐れず、むしろ交流したいようです。

もうすぐ餌をやる時間になる、さらに多くのサルが集まってくるとスタッフが教えてくれました。すると突然、サルの群れが次から次へと鳴き声を上げ、一方向に集まっていきました。飼育員がトウモロコシの粒を持ってきたのです。飼育員を囲むサルの数が増えってきました。飼育員が前に進みながら地面にトウモロコシの粒を撒くと、サルたちは地面のトウモロコシを拾って食べました。100頭以上のサルが集まっているのを初めて見て、「わあ、すごい!」とびっくりしました。

最後に、飼育員はトウモロコシを杭の上に置いて、とても威張ったサルがしゃがんで独りでトウモロコシを食べに来ました。スタッフが、このサルはこの群れのボスだと教えてくれました。サルの王様だったのか!やはり違います。トウモロコシを食べている間は、観光客も間近で観察することができます。

トウモロコシを食べ終わった後、サルたちはまた四方に散らばって、木に登ったり、ブランコに乗ったり、自由に楽しい生活を続けます。



高崎山の向かい側にはマリンパレス水族館「うみたまご」があり、この2カ所はほとんど年中無休で、保護者はいつでも子供を連れて来て、多くの動物と触れ合う楽しい時間を過ごすことができます。

高崎山自然動物園

場所: 大分市神崎3098-1

営業時間: 9:00~17:00

(最終入園時間16:30まで)

一般入園料: 大人・高校生 520円

小・中学生 260円

小学生未満 無料



ノジ in おおいた

国際交流員の日常 vol.30



ノ・ジョン
作： 盧 知榮
(Noh Jiyoung)

アンジと
ホン
1話

ノジの友達初登場!



1

だけど2年生になって私は文系を、二人は理系を選択してクラスは離れたが、



5

高校1年生の時、学校の映像コンテストにクラスメートと応募したことがある。



2

3年生の時、毎週土曜日に一緒に給食を食べながら大学合格を祝ったり祝われたりして、



6

当時の役割分担は私が監督、友達のアンジが主演、友達のホンがナレーターと決まり、



3

卒業してからも連絡を取り合う、そして私に特別な出来事が起きたら絶対に会いに来てくれる友達になった。



7

数日間学校で隙間ごとに撮影し、私の家で収録しながら仲良くなった。



4



2 アンジ&ホンと仲良くなれたきっかけになった当時の映像

from our Reporters 国際交流員だより



◆ 夏、ちょっと好きになったかも

ノ・ジョン
韓国国際交流員 盧知榮

夏が好きではない私は、天气が暑くなってくると一日でも早く夏が終わることを願います。ところで先日、高く見える空を見上げてはふと「もう夏終わるんだ」と、少し寂しく思いました。「待ちに待った秋が来るのに、なぜこのように思うのだろう」とじっくり考えてみると、今年は大分に来て初めて夏を満喫できたからであることがわかりました。コロナが最も流行っていた時期に来日し、ちょっとそこまで出かけることすら怖がっていた私ですが、最近コロナが落ち着いてきて、友達と河川敷で缶ビールを飲んだり、花火を見に行ったりするなど、夏を満喫したおかげで少しは好きになったと思います。来年の夏にはどんな思い出を作られるか、楽しみです！



◆ ねこねこ、うたうー

アメリカ国際交流員 オースティン・ヴォーン

先日、友達と一緒に初めて猫カフェに行ってみました。ずっと気になっていたけど、なかなかひとりで行くことができなくて、来県したときからOPAにお店があると知っていても、行くまでに1年半ぐらいかかりました。でも、やっと行けて本当に良かったです。ネコがすごく可愛かったし、なでなでし放題でした。でもなんか、猫が遊ばれすぎているのか、おもちゃに全く興味がなかったです。一方、おやつには興味津々でした。買った猫のおやつはガチャカプセルに入っていて、それを開く音だけで猫がたくさん集まってきます。本当に最高でした。が、おやつが切れたらまた僕たちに無関心になりました・・・猫って、本当にツンデレ過ぎます。そこもかわいいですけど。



◆ 路線バスの乗り方

ヨウ・コウカ
中国国際交流員 楊江華

日本に来て最初に体験したカルチャーショックはまさかの路線バスです。大分に来た後、バス停に行ったら、「なにこれ？」と一瞬戸惑いました。数字ばかりのバス案内は初めて見たからです。後で友達に説明してもらって、やっとわかりました。日本のバスは電車と同じように「分刻み」の時刻表があり、数字はこのバス停に通過する予定時間なのです。中国のバス停には時刻表がなく、バスの始発と最終の時間、経由地が書かれているので日本とずいぶん違います。また、中国のバスの料金はだいたい2元（約40円）の均一料金で、乗る時にお金を払います。初めて日本でバスに乗ったとき、料金の支払い方などわからなくて、本当に大変でした。しかし、今はGoogle MapsやSuicaなどのアプリを利用すれば、スマホだけで簡単にバスに乗ることができるようになりました。



あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、
世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！
(様式は任意です)

【記事提供／お問い合わせ先】

国際政策課 担当: 生野、中山

【Mail】a10140@pref.oita.lg.jp

募集中!

